

市長定例記者会見報告事項概要(6月)

令和3年6月9日(水)午後1時30分～

1. 新型コロナワクチンの接種状況について

- ワクチン接種については、医師会と連携を密にし、1月から積極的に取り組んでいる。
- さらに、歯科医師会、薬剤師会のご協力もあり、円滑に接種が進んでいる。
- 医療従事者、高齢者施設での優先接種に続き、高齢者の方約35,000人を対象として、5月10日(月)から集団接種を、また、5月17日(月)からは、各医療機関での個別接種を開始した。
- 加えて、三師会のご協力が得られる中で、高齢者の方への集団接種枠を約4,000人分拡大することができ、今月7日から追加予約の募集を開始した。追加予約については、8日時点で、電話予約900件、ウェブ予約1,240件、計2,140件の予約をいただいた。
- 希望される高齢者の方の予約が順調に進んでいると思う一方で、予約の仕方が分からない方、追加予約のことをご存じない方もおられると考え、予約をされていない方に対して個別に意思確認をすることとしている。
- 体制を強化したことにより、高齢者の方への接種については7月末までに完了する予定となった。
- 高齢者の方への接種と並行し、本市独自の取組として、高齢者施設等での接種時に年齢を問わず全ての入所者・従事者約4,000人、デイサービス等の通所系・ホームヘルパー等の訪問系事業所の従事者約2,000人、市内の看護学生約400人への接種も優先して行い、7月末までに完了する予定となっている。

- 加えて、保育園職員や、学校の児童・生徒、学校職員等への優先接種を、7月中旬から開始する基礎疾患を有する方等の接種と並行して行う予定。
- また、昨日開催された知事・19市町長合同会議で項目としてあった、学校職員や消防・警察署職員への優先接種についてももしっかり取り組んでいきたい。
- 本市では、高齢者の方への一回目接種が完了後の7月中旬から、基礎疾患のある方を含む一般の方約59,000人の方への接種を開始し、10月末までには、接種を希望される全員の方の接種が完了する予定。

2. 防府通運株式会社の新事業所建設について

- 防府通運株式会社様が、市内中関三ノ榎団地に新事業所を建設されることが決定した。
- これに伴い、6月16日（水）の10時から、山口県の立会のもと、進出協定書の締結式を執り行う。
- 今回進出される場所は、重要港湾三田尻中関港の西に位置し、数多くの自動車関連企業が集積する中関三ノ榎団地において、長年にわたり未利用だった土地で、市としても企業進出を願っていた場所である。
- この場所に、防府市を代表する企業である防府通運株式会社様が、新たに事業所を整備されることは大変嬉しく、コロナ禍の中で明るいニュースを提供いただいたことに感謝している。

3. 令和3年6月補正予算案の概要について

- 今回の補正予算では、全ての市民の皆様へワクチン接種が完了できる体制強化に係る経費を計上するとともに、4月以降、急激に感染が拡大し、市内経済にも深刻な影響を及ぼしていることから、緊急的な追加の経済

対策を計上した。

- 補正予算の規模としては、新型コロナウイルス感染症対策経費が8億5,600万円、その他の経費と併せ、約8億8,600万円となった。
- 新型コロナウイルス感染症対策については、当初予算で18億3,800万円、今回の補正予算で8億5,600万円を計上し、計26億9,400万円となった。
- これまで国の臨時交付金等を活用してきたが、今回、新型コロナウイルス感染症対策の一般財源5億5,600万円については、全額、財政調整基金の取り崩しで対応する。
- 総合計画で掲げている「年度末決算ベースでの財政調整基金残高20億円」については、しっかりと守れるという条件のもとで、可能な限りの取り崩しをさせていただいた。

(1) 感染症防止対策

① 新型コロナウイルスワクチン接種加速化事業

- 医師会、歯科医師会、薬剤師会等の協力のもと、希望される全ての市民の皆様へのワクチン接種を早期に完了するための体制強化を図る。
- 具体的には、集団接種会場における土日祝日・夜間の開設、大規模集団接種会場の確保などを行う。

② 小中学校の児童生徒等へのPCR検査の実施

- 5月12日に報道発表した感染拡大を未然に防ぐためのPCR検査の実施について、市内介護保険事業所及び障害福祉サービス事業所の従事者へのPCR検査については、緊急を要することから予備費にて対応した。
- 修学旅行や部活動等により、県外との交流があった児童・生徒、並びに教職員等を対象としたPCR検査については、今後の対応となることから、補正予算に計上した。

(2) 地域経済対策

① 飲食店等への激励金

- コロナ禍にあって、事業経営に大きく影響を受けられた飲食業をはじめとする、タクシー業、運転代行業、旅行業、宿泊業、及び貸切バスの事業者に対し、激励金として1事業者あたり20万円を支給する。

② がんばる事業者応援補助金

- 感染症を乗り越えるため、デジタル化や感染防止対策などの「新たな生活様式」に対応した業態転換等に取り組む中小企業者などを支援するため、当初予算で1億円計上した「がんばる事業者応援補助金」を、5,000万円増額する。
- 中小企業者の皆さんが前に向かって進んでいかれるよう、しっかりとサポートしていきたい。

③ 中小企業振興資金融資限度額の引き上げ

- 感染症の影響が長引く中、市内中小企業者などの資金調達が円滑に行えるよう、中小企業振興資金融資事業の融資枠を6億円から10億円に拡大し、融資限度額を1,250万円から1,500万円に引き上げる。
- 併せて、感染症により一定の影響を受けている場合は、保証料全額を市が負担することとする。
- これにより、厳しい環境にある中小企業者の資金繰りの改善を図ってきたい。

④ プレミアム付商品券発行事業

- これまで、「市内経済活性化対策」、「消費拡大対策」として、プレミアム付商品券を2度にわたり発行しており、市内経済の活性化に一定の効果があつたと考えている。
- 市内での急激な感染拡大により深刻な影響を受けている市内経済を、さ

らなる消費喚起により活性化させるため、再度、プレミアム付商品券を発行する。

- この度のプレミアム付商品券は、全ての店舗で使える共通券10,000円分と、中小規模店舗に限定した専用券2,000円分をセットにしたいと考えており、12,000円分の商品券を10,000円で購入していただける。
- 利用期間は9月から12月の4か月間としたい。
- 発行規模については、令和2年8月発行時が6万セット、令和3年2月発行時が3万セットで、今回は、過去最高の8万セット、総額にして9億6,000万円分の発行を予定している。

(3) 市民生活支援

① 新型コロナウイルス生活応援事業

- 長引く感染症の影響を受けている非課税世帯の日常生活を支援するため、1世帯あたり1万円分の商品券を配布する。
- プレミアム付商品券発行事業と合わせると、総額11億円以上の規模となり、市内経済の活性化に繋がるのではないかと期待している。

② 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援事業（国事業）

- 感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活資金が必要な方々に対しての貸付制度である「総合支援資金の特例貸付」の借入額が限度額に達している世帯や、再貸付について不承認とされた世帯などに対し、申請月から3か月間、最大で30万円の自立支援金を給付する。
- 月額が、単身世帯6万円、2人世帯8万円、3人以上10万円ということで、3,000万円の枠を確保して準備をしていきたい。